

月次	調査市町村
8月	伊達町、金山町、会津高田町、西会津町、安達町、船引町、福島市
9月	郡山市、相馬市、原町市、鹿島町、矢祭町、塙町、新地町、石川町、三春町、下郷町、梁川町、富岡町、寒河江市、河北町、福島市
10月	喜多方市、小高町、二本松市、国見町、川俣町、湯川村、会津若松市、下郷町、会津若松市、昭和村、船引町、南郷村、館岩村、須賀川市、双葉町、富岡町、福島市
11月	会津若松市、三春町、梁川町、猪苗代町、下郷町、長沼町、大熊町、原町市、岩代町、福島市、太子町、棚倉町、桑折町、国見町、浪江町、二本松市
12月	只見町、相馬市、二本松市、梁川町、会津若松市、下郷町、熱塩加納村、福島市、田島町、いわき市、船引町
1月	二本松市、いわき市、喜多方市、山都町、川俣町、中島村、泉崎村、仙台市、福島市、矢吹町
2月	二本松市、多賀城市、白河市、矢吹町、仙台市、いわき市、山形市、福島市、須賀川市、霊山町、広野町、楡葉町、小高町、川俣町、月館町
3月	仙台市、保原町、二本松市、相馬市、鹿島町、船引町、大信村、梁川町
	会津坂下町、三島町、金山町、保原町、霊山町、矢祭町、原町市、小高町、浪江町、須賀川市、仙台市、郡山市、会津若松市、喜多方市、山都町、梁川町、只見町、長野市、神戸市、東京都、古殿町、厚木市、平塚市、横浜市、船引町、三春町、国見町、桑折町

イ コレクション調査

- (ア) 4月～9月 竹島コレクション調査・整理
- (イ) 4月～2月 三貫地貝塚遺跡出土品の調査・整理
- (ウ) 6月、10月、11月、12月、3月
五十嵐コレクション調査・整理

⑤ 県立博物館展示資料学術調査

ア 会津盆地南縁山地の基盤岩類調査

- (ア) 地層名 大戸層(先新第三系)
- (イ) 調査地域 会津若松市南縁部、下郷町北縁部及び天栄村西縁部にまたがる大戸岳を中心とした地域、会津高田町松坂周辺、熱塩加納村日中大松沢沿い。
- (ウ) 調査期間 第1次 昭和59年5月23日～26日
第2次 同 6月18日～22日
第3次 同 8月20日～24日
第4次 同 9月17日～21日
第5次 同 10月15日～20日
第6次 同 11月19日～22日
- (エ) 調査主体 福島県教育委員会
- (オ) 調査員 永広昌之、田中久雄、箕浦幸治、柴正敏、長沢壮一、越谷信、大竹亮作、竹谷陽二郎、相田優
- (カ) 調査協力 会津若松市教育委員会、会津高田町教育委員会、下郷町教育委員会、天栄村教育委員会、熱塩加納村教育委員

会

(キ) 調査概要

会津地方の先新第三系の基盤岩のうち、会津盆地南方に分布する大戸層を対象に、岩相、層序、地質構造、堆積構造、堆積年代などの解明を行った。その結果、大戸層は、今から約1億年前に海底に堆積した地層であり、海底地すべりによる変形をうけていることが明らかとなった。

イ 縄文炉跡切り調査

- (ア) 遺跡名 塩沢上原A遺跡
- (イ) 所在地 二本松市上原
- (ウ) 調査期間 昭和59年10月29日～11月28日
- (エ) 調査主体 福島県教育委員会
- (オ) 発掘担当者 鈴木 啓
- (カ) 調査員 辻秀人、藤原妃敏、田中敏、森幸彦、根本豊徳、日下部善己、鈴鹿良一、木本元治、佐久間光平、荒木隆

(キ) 調査指導

梅宮茂、日黒吉明、須藤隆、村山斌夫

(ク) 調査協力

二本松市教育委員会、塩沢住民センター

(ケ) 調査概要

今回の調査では縄文時代中期後葉の竪穴住居跡19軒を検出し、うち11軒で複式炉を確認した。その時期の住居跡の構造、企画性、複式炉の形態や土器の変遷を考える上で重要な遺構、遺物を得ることができた。

ウ 久慈川流域総合調査一都々古別三社総合調査一

- (ア) 調査地域 東白川郡棚倉町、同塙町、同矢祭町、茨城県太子町
- (イ) 調査期間 第1次 昭和59年6月27日～29日
第2次 同 7月16～19日
第3次 同 8月30日～
9月1日

(ウ) 調査員

福島大学教授・小林清治、東北大学助教授・坂田泉、福島県文化センター・藤田定興、文化課文化施設整備室・若林繁、菊池健策

(エ) 調査概要

久慈川は、東白川郡棚倉町西南部にそびえる八溝山地に源を發し、棚倉町より茨城県に流れる。この流域は、常陸国との交通路にあたりその歴史は古い。今回、この流域に散在する馬場、八槻の両都々古別神社(棚倉町)及び下野宮近津神社(茨城県大子町)の三社の歴史、建築、美術、民俗の各分野にわたり調査を進めた。

⑥ 県立博物館滅びゆく伝統技術復元調査

ア 八溝砂金採取技術復元調査

- (ア) 調査地域 東白川郡棚倉町、塙町、矢祭町